

ごみの減量化を進める

御代田町ゴミ事情

ごみの減量化を進めることは、私たちの生活にとって重要な課題です。

御代田町では、地区の役員さん方をはじめ町民のみなさん一人一人の分別排出などの努力により、ごみの減量化について大きな成果をあげています。



平成19年度 ごみの総排出量の概要

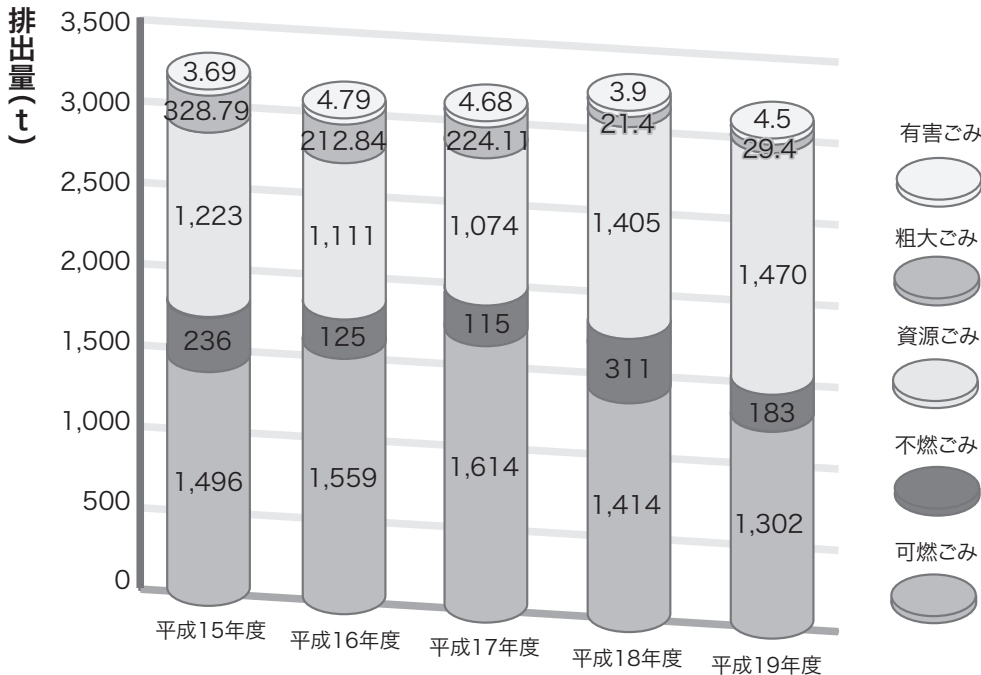
ごみの総排出量は平成17年度、18年度と微増傾向にありましたが、平成19年度中の総排出量は、前年度比5・3%減少し2,989tでした。

区分ごとのごみ排出量では、可燃ごみが前年比7・9%減で1,302t、資源ごみが前年比4・7%増で1,470・2t、その他ごみ(不燃ごみ・粗大ごみ・有害ごみ)が、前年比35・6%減で216・5tでした。(表参照)

今後もごみの分別、資源化の努力だけでなく、ものを買う時ごみが出ないように工夫するなど、ごみの減量化への工夫と努力を引き続きお願いします。

問い合わせ先
町民課環境衛生係
(32) 3111 (内線47・74)

御代田町ゴミ排出量の推移



ごみ減らしのポイント

3つのR

ごみを減らすために必要なことが、Reduce(リデュース)減らす、Reuse(リユース)再使用、Recycle(リサイクル)再生利用という、3つのRを実行することです。この3つを実行することが、ごみの減量化に、そして資源を有効利用することに役立ちます。

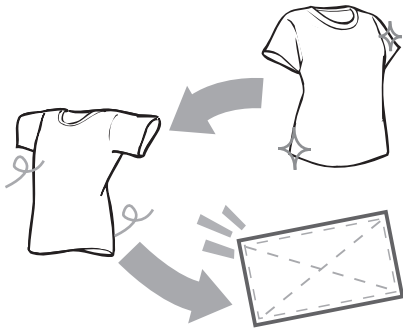
Reduce
(リデュース)
減らす

リデュースとは、「減らす・縮小する」という意味。家から出るごみを減らすこともそうですが、それ以前に買わない・持ち込まないこともリデュースです。ムダに買い、腐らせたり使わなかったりして結局ごみにしてしまう。それがごみの増える原因です。皆さんの気持ちを引き締めて、ムダなごみをなくす方法を実践してください。



Reuse
(リユース)
再使用

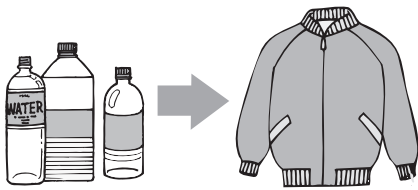
今あるものをできる限り利用する。これがものにも、資源にもやさしい行動なのではないでしょうか。たった一枚のぞうきんでも、元は貴重な資源からつくられたもの。すべてのもに愛情をもち、最後まで利用することこそ、資源に対する恩返しなのです。



Recycle
(リサイクル)
再生利用

リサイクルとは「不要になったものを原料に戻し、新しい製品として再び使用すること」。かといって、なんでもリサイクルすればいいというものでもありません。リサイクルには費用も、新しい資源も必要です。ですから、リデュースして、リユースして、そして最後にリサイクル。これが正しい方法です。

なお、リサイクルしてできた商品(再生品)をみんなで使うことも、リサイクルの輪をときれさせないために大切なことです。



井戸沢最終処分場を
北小学校4年生社会科見学

6月27日に行われました。町担当者から説明があり、処分場にきたことがある人と聞かれると、大勢が手を上げました。自分が捨てたごみが、小さく圧縮して運ばれ、リサイクルされていると知ると驚いていました。

子どもたちの感想では、「ガラスびんが、砂利になる話を聞いてすごいびっくりしました」「ごみで町が埋まってしまうかもしれない…そんな話を聞いてドキッとしました。だから、ごみを減らしたいと思いました」とありました。

この日は、御代田浄化管理センターとイー・ステージ(株)も見学しました。



お盆期間中のごみの収集日程

お盆を含む8月10日(日)から8月16日(土)の収集は次のとおりです。

曜日	日	月	火	水	木	金	土
日	10	11	12	13	14	15	16
収集するごみ種別		生ごみ	プラスチック容器包装	不燃 しなの鉄道より 南側の集積所	生ごみ	休み	休み

15日と16日の収集が休みです